



学校だより

めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

加小っ子だより

令和6年10月8日 No.21

運動会も無事終わり、10月に入りました。

5年生は月末に宿泊を伴う野外学習があり、そのための事前学習が本格的に始まります。

また、6年生も11月初旬に実施する修学旅行に向けた取組が本格的に始まります。他の学年でもゲストティーチャーをお招きしての体験学習などが目白押しです。行事等がたくさんありますが、落ち着いた学校生活が送れるように気持ちを整えてそれぞれの取組をすすめていけるといいですね。

トイレのスリッパをそろえよう！

本校では、「今日が楽しく、明日が待たれる学校」をめざす学校像としています。

このような学校にしていくために、「友だちを大切に、自分を大切に」を合言葉にここ数年、4つの取組をみんなで続けています。4つの取組とは、①自分からあいさつ、②トイレのスリッパをそろえる、③10分間みんなで時間いっぱい掃除、④時間を守るです。

4つの取組のうち、「②トイレのスリッパをそろえる」を続けていることについて考えてみたいと思います。

トイレは、みんなが使う所です。自分も周りの人も気持ちよく使いたいです。

トイレを使う時に、スリッパがそろっているととても履きやすくて気持ちが良いです。逆に、スリッパがそろっていないと、急いでいる時になかなかスリッパを履くことができずに大変困ります。次にトイレを使う人がスムーズにスリッパに履き替え、トイレを気持ちよく使えるように、思いやりとやさしさを持ってスリッパをそろえたいですね。

また、スリッパをそろえることは、次にトイレを使う人のためだけでなく、自分も気持ちよくなります。進んでスリッパをそろえてほしいと思います。

トイレのスリッパの状態を見るとみんなの心の状態が分かります。

だれもが次にスリッパを使う友だちを大切に思いながらそろえることができると、気持ちの良いあたたかい学校になり、周りから自分も大切にされる気持ちの良い学校になっていくと思います。そんな学校を自分たちで意識しながら作っていけるといいですね。

そうすることで「友だちを大切に、自分を大切に」できる

「今日が楽しく、明日が待たれる学校」となるでしょう。



ご家庭でも、礼儀正しい態度や言葉遣い、行動の仕方などについて話題にさせていただくなど、引き続きご理解とご協力をいただければ幸いです。

学校からのお願い ～ 運動場を使う際には ～

加佐登小学校の子どもたちは運動場でよく運動し、よく遊びます。業間や昼休みに先生方と一緒にドッジボールや鬼ごっこなどをする姿を見ているととても温かい気持ちになります。

また、放課後も子どもたちは学校が大好きで、運動場を遊び場として友だちと元気に遊んでいる姿を見るとほほえましく感じるとともに心がホッコリします。

6月にも『加小っ子だより』でお願いしたところですが、運動場にお菓子の包み紙や空になったペットボトル、吸い殻などのごみが目につくようになってきています。学校に登校してきた児童が「お菓子のごみが落ちていたよ。」「たばこの吸い殻が落ちとった。」と職員室に届けてくれることもしばしばあり、子どものその行いは、「校内をきれいしよう」という素直な気持ちの表れで、素晴らしい行いだと思います。

子どもたちに対して「ありがとう」と、感謝の気持ちでいっぱいになります。

反面、ごみがあることについては、残念で悲しい気持ちになります。

学校はさまざまな学習を行う場と考えています。

放課後の運動場は、学校管理下ではありませんが、地域の公園と同じと捉え、遊びを通じて、公共の場を使うときのマナーを身に付ける大事な場と考えています。

もし、子どもたちが運動場で遊ぶときにお菓子などを持参するようなことがありましたら、学校でも子どもたちに指導を行っていきますが、お家の方でも「ごみは持ち帰ってくるんだよ～」と一声かけていただけると幸いです。

みんなが使う場所（公共の場）だからこそ、ひとりひとりが自覚を持って、より安全に、よりきれいに使っていただけると子どもだけでなく大人も安心して遊べる・集える場所になると考えます。そんな場所であって欲しいなあとも思っています。

地域の方々におかれましても、小学生だけでなく、中学生や高校生などの子どもを運動場で見かけましたら、ひと声かけていただくなど、ご協力いただければ幸いです。

